

NPO 法人松山子ども劇場 21 第 120 回舞台鑑賞例会（人形劇）

# へんてこげきじょう

～まとめ集～



 **人形劇団京芸**

日時：2023年9月30日（土）15時開演

場所：愛媛県男女共同参画センター

多目的ホール

来場者 121名 (会員 58名 招待 1名 一般大人 28名 一般子ども 34名)

## ☆感想☆

### 【子ども】

- ・ すっぽんぽん、(´・ω・´)b  
らっぱっぱー、(´・ω・´)b  
おじさんのおてがみ、(´・ω・´)b  
くまさんが、「あー」して、(´・ω・´)b<3歳>



- ・ たのしかった。またくるね。<4歳>

- ・ はいしゃがよかった。<5歳>

- ・ またいきたいです。

- ・ きょうたのしかった。ありがとう。<5歳>

- ・ 3つのおはなしでもとくによかったのがねずみのはいしゃです。  
京とにいったら思えます。<9歳>

- ・ へんてこおじさんのアイスクリームを食べているときがおもしろかった。<7歳>

- ・ 小さい子どもが多かった。3歳の弟が寝転んで見てた。<11歳>

- ・ いつもみたいよ。おもしろかったよ。

- ・ しかい、すこしきんちょうしたけどどうまくいえてうれしかったです。

いちばんさいごにあった、ねずみのはいしゃはじめます。が、おもしろかったです。  
いろいろなにぎょうげきがみれてたのしかったです。<7歳>



## 【大人】

- ・たのしかったです。
- ・テンポよくて楽しかった。会場が寒かった。
- ・たのしかった。歯医者が面白かった。
- ・こういう舞台を観に来たことがなく、童心にかえて楽しむことができました。あつというまの50分でした。ありがとうございました。
- ・子どもがとってもよろこんでました。親もたのしめました。3人の息がぴったりでした。
- ・3つ、それぞれ異なるタイプの劇で新鮮でした。子どもたちも素直に人形たちのきもちになって喜んだり、心配したり、大笑いして見ていました。ありがとうございました。また松山に来てください。
- ・物語をおもしろく上手に演じていて楽しめました。“へんてこげきじょう”よかったです。又松山へ来てくださいネ。
- ・内容も楽しく子ども達が見聞きしている様子を見て、又、見ている親達も楽しめていました。3人の動きのある元気の出る舞台を見させてもらい幸せでした。
- ・へろへろおじさんのなんともいえない表情、動作がたまらなく可愛かったです。『お酢』が素敵でした。
- ・思いがけず同じ幼稚園に通う友だちと舞台を楽しめた、我が家の3歳児は、ござの上に寝転がり頬杖をついて見ていたようです。とてもリラックスした(しすぎた?)姿に、親は衝撃を受けておりました。まだまだ絵や言葉では表現しきれないようですが、『へんてこげきじょう』のチラシを持ってきては、人形劇を観た感想、彼の感じた楽しさを説明してくれています。

・大切な文化だと思いますのでぜひ続けていってください。応援しています。

・とても楽しかったです。小学1年生の孫もゲラゲラ大笑い。会場の子どもたちも一緒になって舞台を盛りあげていたのが印象的でした。(ちょっとした動きや変化にも反応してさすがに子どもたちは鋭い!)。スピーディーな展開や人形の動きに目が離せませんでした。ずっと以前人形劇を素人集団でやっていたことがあるのですが、舞台裏での動きが大変だろう、すごいチームワーク!!と変なところにも感動しました。人形たちもいきいきしてたしかに『へんてこ』とてもおもしろくて固い頭がやわらかくなりました。ありがとうございました。

・小さい子向けの人形劇、三本立て。何から始まるのかとワクワクしながら待っていたらまさかの『へろへろおじさん』から始まりました。テンポ良く、演者さん三人がひげをつけると“おじさん”になる演出に新鮮さを感じながら、子どもたちにはどう映っているのかどう感じるのか興味が沸きます。クライマックスの、アイスを落としてしまうシーンでは大人の「はっ」と息をのむ声が響いてきました。その瞬間にゴザ席からお母さんのところへ駆け寄る子の姿。同じ経験があるのかなあ、おじさんに共感して不安になったのかなあ…と、子どもの感性の深さを見ました。

『おなまえダンス』はリズム良く(当日パンフレットにて演者の坂下さんおすすめの)スッポンはやっぱり面白かったです。今の子ども達には、言葉あそびの習慣が少ないので、こういう機会にたくさん触れさせてあげたいと思いました。

『ねずみの歯医者はじめます』がバタバタと終わってしまった印象がありました。繊細な動きの部分とのメリハリができるとまた違った見方ができると期待しています。演者さんが出てきて人形を動かす舞台は、演者さんたちの演技、顔の表情などと、人形の動かし方を合わせてみることで人形劇の奥深さを感じました。これから公演を重ね、どんなふうに作品が進化するのか楽しみです。また観たい作品だと思います。



## ☆当番ブロックのまとめ☆

【北・鴨川ブロック 川原 きみよ】

今回の例会当番は小町ブロックと合同でした。北・鴨川ブロックは城西ブロックからのメンバーも仲間入りし、スタッフに恵まれました。小町ブロックとの合同での打ち合わせは、なかなかタイミングが合わず行うことができませんでした。それぞれでお手伝いに入れる方を確認し、すり合わせをしました。幸い小町ブロックには幼稚園・小学校の子どもがいて、もぎり・プレゼント渡しを引き受けてくれました。北・鴨川ブロックは会場係を担当しました。

今回は子どもの参加が多かったため、靴袋を渡し、ござ席に一人で座って見れる子どもを誘導しました。上演中は子どもたちが話の内容を気に向け、その時その時に、それぞれが思ったことを口に出していたのが印象的でした。バラシ・搬出作業も、会場づくり同様あつと言う間に作業が終わり、京芸さんからも昨年の【火よう日のごちそうはひきがえる】の時も作業が早かったと言っていただきました。みなさんのおかげで、京芸さんも時間に余裕ができ、出発の前にしばらくお話をする時間が持てました。楽しい一日でした。ありがとうございました。





【小町ブロック 吉田 扶弥】

今回は例会お当番だったのでもぎりからスタート。もぎりは最初の方こそぎこちないもののだんだんと慣れていきました。知っている子に会った時は楽しそうでした。

司会は3人とも緊張した様子でしたがバッチリ決めて嬉しそうにしていました。司会の挨拶のあとスムーズに京芸さんのお話へとつながり、楽しいお話が盛りだくさんの時間となりました。

1話目のへろへろおじさんが出てきた瞬間から子どもたちの視線は釘付けになっていました。明るくて通る声とりズミカルな動きでお話しの世界に引き込まれっぱなしで会場からは子どもたちの笑い声がよく聞こえました。へろへろおじさんの巻き込まれっぷり勢いや感情が伝わってきて楽しかったです。おなまえダンスは躍動感がありました。予想外に言葉遊びになっていて大人の方が子どもたちよりも楽しんでいたかもしれません。

3話目の"ねずみの歯医者はじめます"も京芸さんは休みなくお話を続けていらっしゃるのにテンポも動きも疲れ知らずで、とても素晴らしく会場みんなはまた集中してお話を楽しんでいました。たくさんの人形を3人で操る綱引きの場面はさすがプロの技！と感動しました。

プレゼント渡し担当の子どもたちは、お話の終わりにプレゼントも無事渡すことができ大役を終えてまた一回り成長したようでした。記念撮影の際には京芸さんから素敵な色紙をいただきにっこりしていました。

今回も素敵な時間をありがとうございました。



## ☆舞台鑑賞事業部のまとめ☆

今回は事前企画を行わず、8月のおたよりで夏休みの宿題として【へんてこ写真】と【へんてこぬりえ】を会員の皆さんに募集し、例会会場に持ってきてもらい掲示しました。



「へんてこ大集合とナイスな子どもたち！」 川原 きみよ

人形劇団 京芸さんは、昨年2022年5月例会の『火よう日のごちそうはひきがえる』と同じキャストの3人が来松しました。前回の物語とは違って、コミカルで愉快的な3本立ての『へんてこげきじょう』は、あっと言う間の50分でした。

京芸さんの華麗でスピーディーな人形遣いに感動しました。いつの間に？あのタイミングで？？どーやって人形たちの受け渡しができるんだろう？？？って。まるでマジックを見てるようでもありました。

今回の例会は子どもの参加が多く、ござ席のほとんどが子どもでいっぱいになりました。チラシの効果で興味をもってきてくれる人が多かった！と、とても嬉しく思いました。にぎやかで、ほのぼのとした例会になりました。

【へろへろおじさん】では、おじさんが手紙を大事に胸に入れて出かけます。階段を降りているとうっかり滑り落ちてしまいます。すると会場の子どもたちから「だいじょうぶ〜?」「てがみは〜??」とすぐに心配する声が上がります。

【おなまえダンス】は、その名の通り、そのモノたちがダンスをします。

すっぽん 🍒 の巧みな言葉選びとユーモアにあふれた表現に笑ってしまいました。3匹のすっぽんが現れて楽しくダンス。3匹目のすっぽんがダンスをすると、甲羅から抜けてすっぽんぽーんになっちゃいます。先の2匹の甲羅もすっぽーんと抜けちゃいます。見た目はすっぽんではない、すっぽんたちが楽しく踊ります。どこからか「コラ(甲羅)ー」の声。脱ぎ捨てられた甲羅が、すっぽんに見えないすっぽんたちを追いかけます。めっちゃめっちゃ癒されました。

【ねずみの歯医者はじめます】では、歯が痛いのが治ったクマは、持ってきたはちみつを忘れて帰ります。すかさず「はちみつ忘れとるよー」と子どもたち。とっても優しくて、気が利く子どもたちです 🍷 そしてなんとかいじゅうも来ました。かいじゅうも虫歯でした。虫歯を抜くのは、さながら『大きなかぶ』的一幕のよう。虫歯に紐をかけて、みんなで引っ張ります。やっと抜けました。かいじゅうが帰ってから、会場の子どもたちから「抜けた歯はどーするのー?」と心配の声が。ネズミの歯医者さんはおもむろに片づけました。



## アフタートーク

10月15日(日)10時30分より ハーモニープラザ・多目的室2南にて  
参加者：大人6人・高校生1人・小学1年1人

10月9日(月・祝)の文化庁アートキャラバン事業 ミュージカル『あらしのよるに』のアフタートークも併せて実施しました。人形劇とミュージカルを観劇した様子を振り返りながら、思い思いに感想を語りました。